

第11回 日本の貿易

標 準 演 習

① 日本の貿易について、次の表を見て、との問い合わせに答えなさい。

主な輸出品と輸出先(金額順、2023年)

※単位=%

輸出品目	第1位	第2位	第3位
自動車	(A) (34)	オーストラリア (8)	中国 (6)
(B)	パナマ (35)	リベリア (29)	マーシャル諸島 (11)

主な輸入品と輸入先(金額順、2023年)

※単位=%

輸入品目	第1位	第2位	第3位
(C)	アメリカ合衆国 (42)	オーストラリア (41)	カナダ (7)
魚介類	チリ (12)	アメリカ合衆国 (11)	中国 (10)
(D)	アメリカ合衆国 (40)	カナダ (39)	オーストラリア (21)
原油	サウジアラビア (41)	アラブ首長国連邦 (39)	クウェート (9)
(E)	オーストラリア (65)	インドネシア (14)	カナダ (8)
鉄鉱石	オーストラリア (50)	ブラジル (35)	カナダ (8)
(F)	ドイツ (31)	アメリカ合衆国 (9)	イギリス (8)
衣類	(G) (46)	ベトナム (18)	ミャンマー (8)

(2025/26年版「日本国勢団会」)

□(1) 上の表は、日本の輸出と輸入についてまとめたものです。表のAとGにあてはまる国名を答え、B～Fにあてはまる品目を、それぞれ次の語群から選びなさい。

小麦 自動車 石炭 船舶 牛肉

□(2) 日本の最大の貿易相手国の国名を答えなさい。

□(3) 千葉県にある、貿易額が日本最大の貿易港を答えなさい。

□(4) 神戸港で多くあつかわれている、たばこや衣類などのかさばる物を一度に運べる箱型の容器を何といいますか。

(1)	A	B	C	D
	E	F	G	
(2)		(3)	(4)	

② 次の文章は、「円」と「ドル」の関係について説明したものです。これを読んで、あの問い合わせに答えなさい。

円とドルが、それぞれどのくらいの価値で交換できるかは、決まっていません。日本とアメリカで、それぞれのお金を売り買ひすることによって、変わってしまうからです。日本の経済の状態がよければ、円を買う人が増えます。すると、ドルに対して円の価値が上がり、(①)になります。反対に日本の経済の状態が悪いとドルを買う人が増え、円の価値が下がり、(②)になります。

□(1) 文章中の①・②にあてはまる言葉を、それぞれ漢字2字で答えなさい。

□(2) はじめ1ドル=100円だったとして、文章中の(①)のとき、1ドルと交換できる円はどのように変化すると考えられますか。次のア～ウから1つ選びなさい。

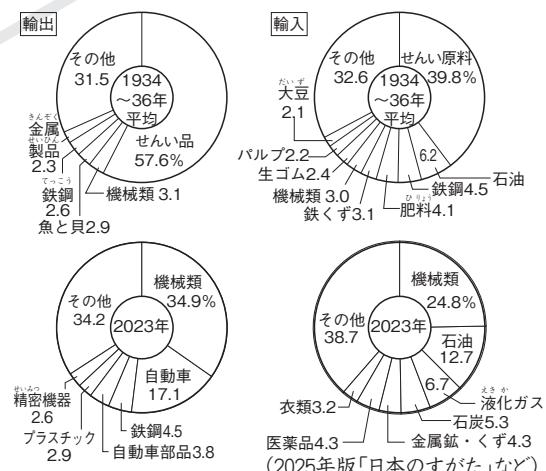
ア 90円 イ 100円 ウ 110円

(1)	①		②		(2)	
-----	---	--	---	--	-----	--

③ 右の円グラフは、1934～36年平均と2023年の、日本の主な輸出入品の内わけをあらわしています。これを見て、次の問い合わせに答えなさい。

□(1) 1934～36年の日本はせんい工業がさかんだったので、多くのせんい原料を輸入して国内で加工し、せんい品として輸出していました。このような形の貿易を何といいますか。

□(2) 2023年の輸出の内わけで割合が高いものは機械類や自動車ですが、輸入の内わけでも機械類の割合が高くなっています。これはなぜだと考えられますか。説明しなさい。



(1)	
(2)	

④ 次のA～Eの文章は、日本の主な貿易港について説明したものです。これを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

- A この港は、神奈川県の(1)港と同じように、自動車工業がさかんな県にあるので、自動車や自動車部品などを多く輸出しています。
- B この港は、大消費地に近い関東の貿易港です。⁽¹⁾ 人口の多い都市をいくつもかかえているため、肉類や魚介類、衣類など、人々の暮らしに欠かせない物資を多く輸入しています。
- C この港は、日本の「空の玄関」といわれる、貿易額が日本最大の貿易港です。⁽²⁾ 主な輸入品は集積回路⁽¹⁾や精密機械、医薬品などです。
- D この港は、東海工業地域にある貿易港です。東海工業地域は浜松市の周辺で(2)の生産がさかんであるため、この取りあつかいが多くなっています。
- E この港は、近畿地方にある貿易港です。一度に運べて、積みおろしに便利な(3)の取りあつかいが多く、たばこや衣類などさばる物の輸入が多くなっています。

(1) A～Eの港にあてはまるものを、次のア～キから1つずつ選びなさい。

- ア 清水港 イ 東京港 ウ 神戸港 エ 名古屋港
オ 川崎港 カ 関西国際空港 キ 成田国際空港

(2) 文章中の(1)～(3)にあてはまることばを答えなさい。

(3) 下線部①について、Bの港と同じように、人口が多いため、肉類や衣類を多く輸入している近畿地方の貿易港はどこですか。

(4) 下線部②について、Cの港の輸入品の共通点は何ですか。かんたんに説明しなさい。

(1)	A	B	C	D	E
(2)	I	2	3	(3)	港
(4)					

⑤ 右のグラフは、日本の輸入相手国を大陸別に分けたときの割合を示したものです。また、表は、日本の輸入相手国を貿易額の多い順にならべたものです。これを見て、次の問い合わせに答えなさい。

(1) グラフのAにあてはまる地域の名前を答えなさい。グラフ

表 日本の輸入相手国

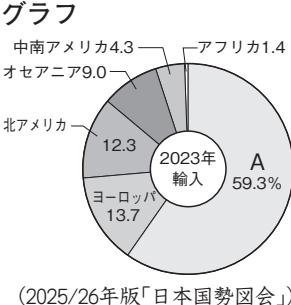
(2024年)

(2) 表のBの国は、日本が機械や衣類、野菜などを多く輸入している国です。

① Bの国名を答えなさい。

② Bの国は、近年工業化が進んでいるBRICSのうちの1つです。BRICSのうち、「I」はどこの国のことですか。国名を答えなさい。

(3) 表のCの国は、長い間、日本の貿易相手国の第1位でした。国名を答えなさい。



1	(B)
2	(C)
3	オーストラリア
4	アラブ首長国連邦
5	韓国

(1)	(2)	①	(2)	(3)
-----	-----	---	-----	-----

第11回 日本の貿易

□⑤ 右の表は、日本と各大陸・主要国との貿易の移り変わりについて示したものです。この表を参考にして、日本の貿易についての説明として正しいものを、次のア～オからすべて選びなさい。

ア かつてはアジアの国々と、近年はアメリカ合衆国との貿易が中心になっていて、2024年はアメリカ合衆国が輸出・輸入とも最大の貿易相手国となっています。

イ 中東の国々から大量に石油を輸入していますが、その金額はこの統計にはふくまれていません。

ウ 2024年のオセアニアとの貿易では、輸入額が輸出額の2倍以上になっていますが、これは地下資源や食料品を大量に輸入しているからです。

エ アメリカ合衆国との貿易では、1960年から2000年にかけて輸出額が急激に増えていて、1970年代から1980年代にかけて貿易摩擦を引き起こしました。そのため、自動車会社は、自主的に輸出する台数を規制しました。

オ 中国からの輸入額が急激に増えているのは、高価で日本ではつくれないようなすぐれた工業製品をつくっているためです。

日本の大陸別貿易

	金額			割合 (%)		
	1960年	2000年	2024年	1960年	2000年	2024年
輸出	億円	十億円	十億円			
アジア.....	5 250	22 431	61 583	35.9	43.4	57.5
中国.....	10	3 274	18 863	0.1	6.3	17.6
北アメリカ.....	4 395	16 162	22 984	30.1	31.3	21.5
アメリカ合衆国.....	3 898	15 356	21 295	26.7	29.7	19.9
中南アメリカ.....	1 094	2 265	4 678	7.5	4.4	4.4
ヨーロッパ..... ⁽¹⁾	1 936	9 141	13 468	13.3	17.7	12.6
アフリカ.....	1 266	544	1 320	8.7	1.1	1.2
オセアニア.....	655	1 110	3 054	4.5	2.1	2.9
計×.....	14 596	51 654	107 088	100.0	100.0	100.0
輸入						
アジア.....	4 921	22 391	67 017	30.5	54.7	59.5
中国.....	75	5 941	25 306	0.5	14.5	22.5
北アメリカ.....	6 326	8 728	14 654	39.2	21.3	13.0
アメリカ合衆国.....	5 563	7 779	12 667	34.4	19.0	11.3
中南アメリカ.....	1 116	1 183	5 013	6.9	2.9	4.5
ヨーロッパ..... ⁽¹⁾	1 758	6 173	15 583	10.8	15.1	13.8
アフリカ.....	590	535	1 374	3.6	1.3	1.2
オセアニア.....	1 455	1 929	8 918	9.0	4.7	7.9
計×.....	16 168	40 938	112 559	100.0	100.0	100.0

(1)旧ソ連・東欧諸国を含む。

(2025/26年版「日本国勢団会」など)

発□7 右の表1は、小麦の主な生産国を、2023年の生産量の高い順に第5位まで示したものです。また、表2は小麦を輸出している国を、2023年の輸出量の多い順に第5位まで示したものです。

表1を見ると、中国は、小麦の生産量が多い国であることがわかります。しかし、表2を見ると、小麦の輸出国として、中国は上位5位以内に入っています。これはなぜですか。かんたんに説明しなさい。

表1 小麦の主な生産国 (単位 千t)

	1989～91 平均	1999～ 2001平均	2022	2023
中国.....	94 995	102 463	137 720	136 590
インド.....	53 031	72 446	107 742	110 554
ロシア.....	...	37 484	104 234	91 500
アメリカ合衆国.....	61 204	58 736	44 898	49 314
オーストラリア.....	13 279	22 777	36 237	41 199

表2 小麦の輸出国 (単位 千t)

	2022	2023
ロシア.....	22 083	31 599
オーストラリア.....	28 781	29 292
カナダ.....	18 548	25 571
アメリカ合衆国.....	20 918	17 942
ウクライナ.....	11 223	16 152

(2025/26年版「日本国勢団会」など)

発展演習

1 右の写真は、現在の貿易で使われている「コンテナ」です。コンテナの取りあつかい量が多い神戸港では、コンテナで運ぶたばこや衣類の輸入額が多くなっています。



□(1) コンテナで運ばれる品物には、ある共通点があります。どのような点が共通していますか。かんたんに説明しなさい。

□(2) 貨物輸送にコンテナを使うとよい点を、2つあげて説明しなさい。

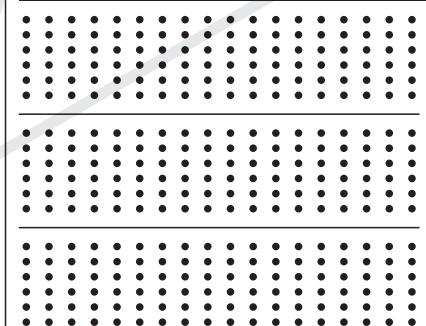
□2 右の新聞記事は、「円安」について報じたものです。「円安」が進行することによって、どのようなことが起こると考えられますか。「よい面」と「悪い面」について、それぞれかんたんに説明しなさい。

よい面

悪い面

円安ついに1ドル140円

企業業績や家計にも影響



(単位 億円)

	1960年	2024年	
せんい品	4 404	機械類	371 448
うち綿織物	1 265	うち集積回路	45 918
衣類	794	半導体等製造装置	44 962
化せん織物	631	原動機	28 905
機械類	1 784	電気回路機器	21 432
うちラジオ受信機	521	電気計測機器	20 076
鉄鋼	1 397	建設・鉱山用機械	17 683
船ぱく	1 037	ポンプ・遠心分離機	16 659
魚介類	629	自動車	179 095
金属製品	532	鉄鋼	43 953
精密機械	346	自動車部品	39 790
がん具	324	プラスチック	33 470
自動車	281	精密機器	28 168
はきもの	260	有機化合物	21 287
計×	14 596	計×	1070 879

□3 右の表は、1960年と2024年の日本の主な輸出品を比べたものです。日本の輸出は、この約60年の間にどのように変化しましたか。説明しなさい。

(2025/26年版「日本国勢団会」など)

- 4 次の表は、日本の主な貿易港の輸出入品目の金額と割合を示しています。表を見て、あとの問い合わせに答えなさい。

主な貿易港の輸出入品目(2023年)

成田国際空港						横浜					
輸出品目	億円	%	輸入品目	億円	%	輸出品目	億円	%	輸入品目	億円	%
金(非貨幣用)……	16 447	10.9	医薬品……………	29 298	15.6	自動車……………	16 463	19.3	機械類……………	16 594	26.0
半導体等製造装置	10 919	7.3	通信機……………	26 797	14.2	自動車の部分品…	4 433	5.2	原油……………	3 687	5.8
科学光学機器……	8 049	5.3	集積回路……………	24 875	13.2	原動機……………	3 982	4.7	果実・野菜……………	2 295	3.6
集積回路………	6 407	4.3	科学光学機器……………	11 605	6.2	プラスチック………	3 067	3.6	有機化合物……………	2 176	3.4
電気計測機器………	4 912	3.3	コンピュータ……………	10 261	5.4	建設用・鉱山用機械	2 945	3.5	アルミ・同合金……………	2 023	3.2
計×……………	150 468	100.0	計×……………	188 306	100.0	計×……………	85 210	100.0	計×……………	63 849	100.0

東京						関西国際空港					
輸出品目	億円	%	輸入品目	億円	%	輸出品目	億円	%	輸入品目	億円	%
半導体等製造装置	3 753	5.0	衣類・同附属品…	11 536	7.5	集積回路……………	12 052	19.1	医薬品……………	9 712	21.5
自動車の部分品…	3 557	4.8	コンピュータ……………	9 490	6.2	医薬品……………	4 242	6.7	通信機……………	5 125	11.3
コンピュータ部品	3 285	4.4	肉類・同調製品…	6 288	4.1	電気回路等の機器	3 733	5.9	集積回路……………	3 574	7.9
プラスチック………	3 256	4.4	魚介類・同調製品	5 656	3.7	半導体等製造装置	3 592	5.7	科学光学機器……………	2 172	4.8
原動機……………	3 134	4.2	科学光学機器……………	5 088	3.3	科学光学機器……………	3 064	4.9	半導体等製造装置	1 868	4.1
計×……………	74 624	100.0	計×……………	153 130	100.0	計×……………	63 032	100.0	計×……………	45 228	100.0

名古屋					
輸出品目	億円	%	輸入品目	億円	%
自動車……………	45 571	30.0	石油……………	6 003	8.2
自動車の部分品…	20 704	13.6	液化天然ガス……………	5 762	7.9
原動機……………	5 356	3.5	絶縁電線・ケーブル	4 247	5.8
金属加工機械………	5 212	3.4	衣類・同附属品…	3 989	5.4
重電機器……………	5 166	3.4	アルミ・同合金…	3 343	4.6
計×……………	151 870	100.0	計×……………	73 236	100.0

(2025/26年版「日本国勢団会」)

- (1) 名古屋港と横浜港の表を見ると、輸出品の品目がいくつか共通しています。これはなぜですか。
2つの港がある地域の産業を考えて、説明しなさい。

- (2) 成田国際空港と関西国際空港の表を見ると、ほかの貿易港と比べて輸出入品はかなり異なっています。なぜこのような輸出入品をあつかっているのですか。説明しなさい。

- (3) 東京港の輸入品の上位には、「肉類」や「魚介類」といった食料品がふくまれています。これはなぜですか。理由をかんたんに説明しなさい。